

☆はじめに☆

暦の上では立春とはいえ、一年で一番寒い月がやってまいりました。大人は外出が億劫になりがちですが、子どもたちは寒さに負けず散歩や外遊びを楽しんでいます。正月遊びのコマに興味津々、昔ながらの遊びも子どもたちを惹きつけています。

2月には節分、いろいろな鬼を追い出し、多くの福を招き入れましょう。

☆インフルエンザ☆

12月にインフルエンザのシーズン開始とお知らせしましたが、1月に入り、園でも発症が確認されました。インフルエンザは急激に発症し、爆発的に短時間で広がる感染症です。特に幼児や高齢者などが重症化しやすく注意が必要です。感染経路として「咳などによる飛沫による感染」「鼻などの分泌物に汚染されたもの（口や鼻を触った手や、汚染された手で触ったドアノブなど）を介しての間接感染」になります。感染が疑われる場合は、重症化しないように、また、人への感染予防のためにも早めの通院、治療をお願いします。

◆症状 高熱(38度以上)、倦怠感、鼻水、咳
関節痛、頭痛、悪寒等

◆潜伏期間 通常1日から2日

◆進行 急激なことが多い

◆予防：うがい、手洗い(石鹸)、室内換気、マスク
タオル等を共有しない、人込みを避ける
栄養補給、早寝早起き

◆登園基準

発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで。ただし、医師が「感染のおそれがない」と認めれば、この限りではありません。

FootMarkLetter

February



☆小1プロブレム☆

ミント組は4月から「小学校」という新しいステージに立つこととなりますが、今、学校教育業界では「小1プロブレム(問題)」が盛んに話題になります。入学したばかりの小学生が教室で座っていらなかったり、集団行動が取れず適応できない状態のことで、十数年前から目立ち始めたと言われていています。原因は家庭のしつけや学校の指導力不足だけにあるわけではありません。幼稚園や保育園からの生活が急に変わったことや、基本的な生活習慣の欠如、コミュニケーション能力の不足、しつけの不足などが挙げられています。最近の育児書にはよく「褒めて育てる子育て」といった視点で書かれており、決して否定しません。しかし褒めてばかりだと、褒められないとやらない、ご褒美が過剰になっていくこととなります。諭す、叱る(怒るではありません)ことも同じようにしっかりやるべきです。諭す場合も愛情をもって接してください。子どもは自己が肯定されていることを感じることで成長します。園でも様々な決まりがあり、守ることは体感していますので、安心して子育てしてください。

今後は幼稚園と小学校の一貫教育などいろいろな取り組みがなされると思いますが、「小学校に上がるまでは足し算や読み書きができるように」とか、小学校サイドの視点に立った「早期教育」の前倒的な取り組みでは更に窮屈になってきて、解決にならないと思います。さまざまな幼稚園や保育所の取り組みを踏まえたうえで小学校の在り方をもっともっと考えていただきたいと思います。「学級崩壊」などの言葉も前々から言われていますが、ほとぼりがさめ、またしばらくして、「パッ」と散発的に騒がれたり・・・なかなか解決しない難しい問題なのでしょうね。

行事予定

- 3(金) クッキング(2~5歳児)・節分
- 8(水) 異年齢交流(お弁当)
- 13(月) 身体測定(0~2歳児)
- 14(火) 身体測定(3~5歳児)
- 21(火) 大岡小学校交流(5歳児)・避難訓練
- 22(水) 蒔田小学校交流(5歳児)
- 25(土) 懇談会・講演会(保護者)
- 28(火) 誕生会

☆職員研修☆

- 6(月) 救急救命講習(北原・木村)
- 27(月) 保育の質向上における園内研修(中村)

☆節分☆

本来「節分」とは「季節を分ける」という意味があり、各季節の始まりの日の前日(立春、立夏、立秋、立冬)指しましたが、いまでは厳冬を乗り切り、旧暦で年が改まる重要な日として立春の前日のみを言うようになりました。節分は邪気(鬼)が生じると考えられ、それを追い払うために豆まきが行われます。そして自分の年の数(あるいは1つ加えた数)の豆を食べ、無病息災を願います。

なぜ豆まきをするのでしょうか。昔から米や豆には霊力が宿っているとの考えや、「魔を滅する」から「魔滅(まめ)」など諸説あるようです。

鬼がトラのパンツをはくわけは、「鬼門」に由来します。鬼門は鬼の出入りする方角で「北東」とされ、この方角は十二支で「丑うし」「寅とら」の方角にあたります。そのため、古来鬼は「牛(丑)」の角をもった姿で、「虎(寅)」のパンツを身に付けているとされているそうです。